



日時： 2018年1月21日(日)
開演 16:00 / 開場 15:45

場所： 東京大学駒場キャンパス
コミュニケーションプラザ3階
身体運動実習室1

構成・演出・指導： 安藤 朋子

出演： 「生命のかたちとしての演劇実践」
授業参加者

事前登録不要・入場無料

問い合わせ： project1@ihs.c.u-tokyo.ac.jp

IHS プロジェクト1
「生命のかたちとしての演劇実践」授業成果発表
ショーイング公演

Komaba Square

身体はどのように思考するのか——。

プロジェクト1では、この根源的な問いを俳優・安藤朋子先生の指導のもと、2017年春より身体ワークショップと対話を通して実践的に学んできました。

極度にゆっくり歩行する（5mを12分かけて歩く）という日常の身体動作にはない虚構の時間に身を置き、そこに生じる日常と非日常のズレの感覚に演劇性を見出し作品化することを目指しました。

このワークは日本だけにとどまらず、南インド・ケララ州での研修へと発展しています。2017年9月、安藤先生をリスペクトするインドの演出家で劇団ルーツ&ウィングスを主宰するシャンカル・ヴェンカテーシュワラン氏が山の中に建設した劇場（サヒヤンデシアター）にIHSの学生とインドの俳優が集い、安藤先生、シャンカル氏の指導もとワークショップが行われました。壮大な自然と地元少数民族の方たちとも触れ合いながら、過酷な天候のなかでしたが無事に研修を終えることができました。

一年間の授業成果として「生命のかたちとしての演劇実践」の授業に参加したメンバーによるショートピース作品を発表いたします。

安藤朋子先生構成・演出「Komaba Square」は、駒場キャンパスに虚構の時間と身体を生み出します。非日常のひとつときを共に体験していただきたく、ぜひご参観くださいますようお願い申し上げます。

